

クラウドファンディング

【第5弾】歌舞伎や映画、鮮やかな日本文化の遺産を守り復元する。

プロジェクトが成立いたしました！

ご支援・ご協力ありがとうございました！

【第5弾】 歌舞伎や映画、鮮やかな日本文化の遺産を守り復元する。



支援総額	2,780,000円
目標金額	2,500,000円
支援者数	158人
残り日数	終了しました

プロジェクトが成立しました！
このプロジェクトは
2016年10月26日(水)23:00 に成立しました。

9月6日より、クラウドファンディングサイト「READYFOR」にて、平成28年度の図書館事業費及び161枚の「組上燈籠絵」デジタル化と3組の復刻版印刷費用を募集しておりました【第5弾】歌舞伎や映画、鮮やかな日本文化の遺産を守り復元する。プロジェクトが、50日間のスポンサー募集期間を経て10月26日に終了いたしました。

おかげさまでプロジェクト5年目の今年は、READYFORのサイト上に反映されている支援者の皆様の人数と、代理で申込みいただいた方の人数を合わせまして**164名**の方より、目標額250万円を上回る、**278万円**のご支援をいただき、プロジェクトが成立いたしました。本当にどうもありがとうございました。

温かなご支援を下された皆様、心強い応援コメントを送って下さった皆様、SNSや様々なメディアで広め、そしてチラシの配布にご協力下さった皆様、ご支援・ご協力下さいました全ての皆様に、心から感謝申し上げます。

皆様の、貴重な資料をデジタルアーカイブ化し後世に伝えたいという願いがこもったご支援とともに、これからも、さらに役立つ専門図書館を目指しスタッフ一同、頑張っております。

プロジェクトの詳細は、下記のURLまたはQRコードをご覧ください

<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan5>



≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『HIGH&LOW THE RED RAIN』	○	○	○		
『彼岸島 デラックス』	○				○
『シネマ歌舞伎 ワンピース』	○		○		
『いきなり先生になったボクが彼女に恋をした』	○		○		

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■

『ジェーン』 『デスノート Light up the NEW world』
 『92歳のパリジェンヌ』 『コウノトリ大作戦!』 『ジュリエッタ』

■ 松竹系 10月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『初帆上成駒宝船』	○			
	『女暫』	○			
	『お染久松浮埒鴉』	○			
	『極付幡随長兵衛』	○			
	『外郎売』	○			
	『中村橋之助改め八代目中村芝翫・中村国生改め四代目中村橋之助・中村宗生改め三代目中村福之助・中村宜生改め四代目中村歌之助襲名披露口上』			○	○
	『一谷嫩軍記』	○			
新橋演舞場	『藤娘』				
	『GOEMON 石川五右衛門』			○	○
御園座	『橋弁慶』	○			
	『壺坂靈験記』	○			
	『ちいさんばあさん』	○			
	『菅原伝授手習鑑 寺子屋』	○		○	○
	『英執着獅子』	○			
	『品川心中』	○			
松竹座(大阪)	桜花昇ぼるファーストコンサートin大阪松竹座			○	
	座オペラin大阪松竹座 オペラ「蝶々夫人」全幕上演			○	
	第七回三番三昧			○	
八千代座(熊本)	坂東玉三郎特別舞踊公演			○	
巡業	『芝桜』			○	
巡業	『獨道中五十三驛』	○		○	
巡業	『勸進帳』(古典への誘い)	○			
	『安宅』(古典への誘い)			○	

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

(新着資料案内 続き)

■ 他社演劇公演資料 ■

あうるすぽっと	10月	花組芝居『桐一葉』プログラム
浅草寺境内	10月	『にっぽん文楽 in 浅草観音』プログラム
NHKホール	10月	『第43回古典芸能鑑賞会』プログラム
恵比寿・エコー劇場	10月	エアトルエコー『バッファローの月』プログラム、台本
大阪新歌舞伎座	10月	『コロッケ特別公演』プログラム
吉祥寺シアター	9月	ティーファクトリー『荒野のリア』プログラム アマヤドリ『月の剥がれる』プログラム
紀伊國屋サザンシアター	10月	劇団民藝『箆棒』プログラム、台本
国立劇場小劇場	9月	『文楽公演』プログラム、床本
	10月	『女性による伝統芸能の伝承』プログラム
国立劇場大劇場	10月	『仮名手本忠臣蔵第一部』プログラム、台本
湖南省石部文化ホール	10月	劇団こなんヒストリア『やすのながれ』プログラム
The 8th Gallery	10月	熱帯◎カジュアル『Mt. Fuji 92.2km』プログラム
ザ・スズナリ	10月	『愛の終着駅』プログラム ブレオム劇プロデュース『片鼻』プログラム
シアタークリエ	10月	『雪まろげ』プログラム
シアタートラム	9月	『クレシダ』プログラム
下北沢駅前劇場	9月	ペテカン『諸々そこんところ3』プログラム
下北沢「劇」小劇場	9月	『ケンジの森のバス停』プログラム、台本
下北沢シアター711	9月	ウォーキング・スタッフ『三億円事件』プログラム
下北沢小劇場B1	10月	名取事務所『象』プログラム
新国立劇場小劇場	10月	シスカンパニー『遊侠沓掛時次郎』プログラム
新国立劇場中劇場	9月	『真田十勇士』プログラム
Space早稲田	10月	流山児☆事務所『OKINAWA 1972』プログラム、台本
千本桜ホール	10月	『ドブ恋7』プログラム
帝国劇場	9月	『DREAM BOYS』プログラム
東京芸術劇場シアターイースト	10月	『あの大鴉、さえも』プログラム
中野テアトルBONBON	9月	西瓜糖『うみ』プログラム
日生劇場	10月	ABC座『株式会社応援屋!!』プログラム
俳優座劇場	9月	劇団青年座『朝食まで居たら?』プログラム、台本
博品館劇場	9月	『追録喜多八膝栗毛』プログラム 『アンダースタディ』プログラム
Pit 昴	10月	劇団昴『どん底』プログラム、台本
ブルーシアター六本木	10月	s**t kingz『Wonderful Ckunker 素晴らしきボンコツ』プログラム
本多劇場	9月	ヨーロッパ企画『来てていつか来るべき新世界』プログラム
	10月	加藤健一事務所『SHAKESPEARE IN HOLLYWOOD』プログラム
三越劇場	10月	前進座『たいこどんどん』プログラム
明治座	01月	『坂本冬美特別公演』プログラム、台本

■ 演劇雑誌 ■

『Confetti』2016年NOVEMBER	『京都芸術劇場ニュースレター』2016年8月-11月号
『JPL』2016年AUTUMN	『国立演芸場公演ガイド』平成28年11月号
『KABUKI BOOKS』Vol.1, Vol.2	『大向う』平成28年11月号
『あぜくら』2016年10月号	『伝統文化新聞』2016年(125号)
『ひろば』2016年139号	『日本芸術文化振興会ニュース』
『シアターガイド』2016年12月号	平成28年10月号, 11月号
『テアトロ』2016年10月号, 11月号	『日本照明家協会誌』2016年10月号
『ミュージカル』2016年11月-12月号	『日本舞踊』68巻11月号
『ラ・アルプ』2016年11月号	『悲劇喜劇』2016年11月号
『演劇界』2016年12月号	『邦楽の友』平成28年11月号
『花びし』154号, 155号	
『喝采』2017年1月, 2月, 5月	

(新着資料案内 続き)

■ 映画雑誌 ■

- 『FLIX』2016年12月号
『NFCカレンダー』2016年10月号,11月号
『NFCニューズレター』2016年10月-11月号
『SCREEN』2016年12月号
『TVガイド』2015年8/29-9/4号,9/11号,9/18号,9/25号,10/2号,10/9号,10/16号,10/23号,10/30号,11/6号,11/13号,11/20号,11/27号,12/4号,12/11号,12/18号,2015年12/19-2016年1/17号,1/15号,1/22号,1/29号,2/5号,2/12号,2/19号,2/26号,3/4号,3/11号,3/18号,3/25号,4/1号,4/8号,4/15号,4/22号,4/29号,5/6号,5/13号,5/20号,5/27号,6/3号,6/10号,6/17号,6/24号,7/1号,7/8号,7/15号,7/22号,7/29号,8/5号,8/12号,8/19号,8/26号,9/2号,9/9号,9/16号,9/23号,9/30号
『キネマ旬報』2016年11月上旬号,11月下旬特別号
『ザ・テレビジョン』2015年9/11号,9/18号,9/25号,10/2号,10/9号,10/16号,10/23号,10/30号,11/6号,11/13号,11/20号,11/27号,12/4号,12/11号,12/18号,12/19-2016年1/17号,2016年1/15号,1/22号,1/29号,2/5号,2/12号,2/19号,2/26号,3/4号,3/11号,3/18号,3/25号,4/1号,4/8号,4/15号,4/22号,4/29号,5/6号,5/13号,5/20号,5/27号,6/3号,6/10号,6/17号,6/24号,7/1号,7/8号,7/15号,7/22号,7/29号,8/5号,8/12号,8/19号,8/26号,9/2号,9/9号,9/16号,9/23号,9/30号
『シナリオ』2016年12月号
『シナリオ教室』2016年11月号
『シネ・フロント』2016年10月号
『ドラマ』2016年11月号
『ピクトアップ』2016年12月号
『映画テレビ技術』2016年11月号
『映画芸術』2016年秋号
『映画時報』2016年11月号
『映画秘宝』2016年12月号
『衛星劇場プログラムガイド』2016年11月号
『黒澤明研究会誌』2016年35号
『日経エンタテインメント!』2016年10月号,11月号

≫≫ 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 書籍 ■

- 『演劇年鑑 2016』 日本演劇協会(編) 日本演劇協会
『「芝居見たまま」明治篇 一』 国立劇場調査養成部調査記録課(編) 日本芸術文化振興会
『「芝居見たまま」明治篇 二』 国立劇場調査養成部調査記録課(編) 日本芸術文化振興会
『「芝居見たまま」明治篇 三』 国立劇場調査養成部調査記録課(編) 日本芸術文化振興会
『「芝居見たまま」明治篇 四』 国立劇場調査養成部調査記録課(編) 日本芸術文化振興会
『THEATRE YEAR-BOOK 2016』 国際演劇協会日本センター(ITI JAPANESE CENTRE)
『ウエストエンド・ブロードウェイ劇場視察 研修報告書 平成27年度』 日本演劇興行協会
『日本芸術文化振興会年報 平成26(2014)年度』 日本芸術文化振興会
『交差する歌舞伎と新劇』 神山彰(編) 森話社
『演劇と世界 日本と世界の出会いをめぐる 紛争地域から生まれた演劇その7』 国際演劇協会日本センター
『OMS戯曲賞vol.21』 大阪ガスビジネスクリエイト内OMS戯曲賞事務局
『OMS戯曲賞vol.22』 大阪ガスビジネスクリエイト内OMS戯曲賞事務局
『歌舞伎大向細見』 中條嘉昭(著) ブレーン(発行)、北辰堂出版(発売)
『コクーン歌舞伎』 細野晋司(撮影) 集英社インターナショナル
『JAPANESE FILM 2015』 UniJapan [ユニジャパン]
『JAPANESE FILM 2016』 UniJapan [ユニジャパン]
『溝口健二・全作品解説』 佐相勉(著) 近代文芸社
『溝口健二論 映画の美学と政治学』 木下千花(著) 法政大学出版局
『映画監督小津安二郎の軌跡 芸術家として、認識者として』 竹林出(著) 風濤社
『婆娑羅=VAJRA 野波浩写真集』 野波浩(著) エディシオン・トレヴィル(発行)、河出書房新社(発売)

資料をご寄贈くださった方々（敬称略・順不同／2016年8月～9月）

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、松竹ブロードキャスティング株式会社、邦楽の友社、国立劇場、シナリオ・センター、日本映画テレビプロデューサー協会、株式会社日本舞踊社、フィルムセンター、株式会社現代書館、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、劇団四季、銀座 博品館劇場、シアタークリエ、文学座、演劇出版社、劇団若獅子、キネマ旬報社、博多座、日本劇団協議会、粹者、一般社団法人日本民間放送連盟、岩波ホール、帝国劇場、新国立劇場情報センター、ロングランプランニング株式会社、御園座、パルコ劇場、株式会社カモミール社テアトロ編集部、伝統文化新聞、関西・歌舞伎を愛する会、(株)近代映画社、公益社団法人日本照明家協会、デアゴスティーニ・ジャパン、一般社団法人日本映画製作者連盟、株式会社ホリプロ、人形劇団プーク、おもだか会、株式会社パルコ、国文学研究資料館、銀座百店会、山口博哉、岩下忠夫、岩倉達、三越劇場、日本映画撮影監督協会、講談社、劇団昴、愛知芸術文化センター、神戸女子大学古典芸能研究センター、独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場、明治座、前進座、歌舞伎学会、東京芸術座、神奈川県演劇連盟、世田谷文学館、日本ウニマ（国際人形劇連盟）、丸善出版株式会社、玉造小劇店、日本近代文学館、立東舎、若林さだ吉、尾上右近事務所、社団法人日本演劇協会、株式会社NewYorkArt、オペラシアターこんにやく座、劇団俳優座、劇団民藝、K A A T 神奈川芸術劇場、秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場、独立行政法人国際交流基金、ゴーチ・ブラザーズ、博物館明治村、東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）、阪急文化財団、シーエイティプロデュース

どうもありがとうございました

≫≫ お知らせ

図書館総合展「専門図書館紹介コーナー」に参加しております

11月8日(火)～10日(木)、パシフィコ横浜で「第18回図書館総合展」が開催されています。

図書館総合展は、2016年で第18回目を数える図書館関連では国内最大のイベントです。図書館運営者・関連業界が一堂に会し、読書・学習・研究環境についての最新技術と知見を深めるための最大かつ最良の機会となっています。会期中は、各団体の主催によるフォーラム、スピーカーズコーナー、ポスターセッション、図書館キャラクター・グランプリなど様々な催しや展示が行われます。

当館は【専門図書館をみてみよう 展示「こんなにあります！あなたも使える専門図書館】という、一般公開されている魅力的な専門図書館をパネル展示とスライドショー、配布資料等で紹介するコーナーに参加しております。当館のチラシもここで配布しております。

詳しいレポートは次号でご報告いたします。

■第18回図書館総合展 専門図書館をみてみよう

展示「こんなにあります！あなたも使える専門図書館」

日時:2016年11月8日(火)～11月10日(木)

場所:パシフィコ横浜 展示ホールD/Aネックスホール

URL:<https://www.libraryfair.jp/news/5208>



会場でのチラシの発送準備時の写真です

第61回松竹大谷図書館所蔵資料展示「中村芝翫代々」展

展示期間：2016年10月28日～12月26日／於 閲覧室

現在、10・11月の歌舞伎座を皮切りとする「中村橋之助改め八代目中村芝翫襲名披露・中村国生改め四代目中村橋之助 中村宗生改め三代目中村福之助 中村宜生改め四代目中村歌之助襲名披露公演」が華やかに行われておりますが、この八代目芝翫襲名を記念し、歴代の中村芝翫に関する「中村芝翫代々」と題した展示を行っております。

「芝翫」の名は、八代目の父の七代目中村芝翫、六代目中村歌右衛門(前名六代目芝翫)と、二代続けて女方の俳優が継いでおり、名跡としては女方としての印象が強いですが、代々の芝翫を見てみますと、必ずしもそうではないことがわかります。今回は初代から、久しぶりの立役の芝翫となった八代目まで、8人の「芝翫」に関する資料を展示しました。

展示資料一覧

初代中村芝翫(三代目中村歌右衛門)【安永7[1778]年生-天保9[1838]年没】

初代歌右衛門の息子。大坂に生まれ、幅広い芸域を誇り、踊りの名手であった。演出の創意工夫は多く、その型は現在に伝わる。文化15[1818]年より文政2[1819]年の間の、三度目の江戸滞在中に限り、俳名の芝翫を名乗り、これが初代となる。帰坂後は再び歌右衛門を名乗る。

●『芝翫帖』文化11[1814]年5月 浜松歌国、梅枝軒泊齋作

三代目中村歌右衛門の二度目の江戸下りを祝して出版された、歌右衛門の鼻貞による狂歌発句、摺物や戯文などの小品を収めたもので、歌右衛門の活躍を讃える内容。表紙には鶴菱を連ねた模様がある。



『芝翫帖』表紙



『芝翫帖』の内ページ一部

描かれている鳥は、仮想の鳥「芝翫鳥」。芝翫(三代目中村歌右衛門)を鳥になぞらえ、「浪花の歌舞木(カブキ)」に生まれ、雛のころからすぐれていたが、のちに東(江戸)へ行き「大江戸八百八鳥(八百八丁)」の座頭となったこと、五年後、古巣の浪花に戻り、不思議な七色に変ずる毛(舞踊の七変化にかけてある)を生じたこと、「ひい木(鼻貞)」が増えていったことなどを述べた戯文。

●『芝翫栗毛』文化11[1814]年6月 浜松歌国作 二冊

三代目中村歌右衛門の二度目の江戸下りの道中記。歌右衛門の書簡を写して出版したとされるが、歌国の戯作と考えられる書物。表紙には『芝翫帖』と同じく鶴菱を連ねた模様が描かれている。

※参考文献：「歌舞伎文化の享受と展開 観客と劇場の内外」神楽岡幼子著/「日英交流 大坂歌舞伎展 上方役者絵と都市文化」大阪歴史博物館発行

二代目中村芝翫(四代目中村歌右衛門)【寛政10[1798]年生-嘉永5[1852]年没】

三代目中村歌右衛門の弟子。文政8[1825]年二代目芝翫、天保7[1836]年に四代目中村歌右衛門襲名。三代目中村歌右衛門(初代中村芝翫)の芸を継承し、立役、女方に至るまで活躍した舞踊の名手。

三代目中村芝翫【文化7[1810]年生-弘化4[1847]年没】

三代目中村歌右衛門の養子。天保7[1836]年三代目芝翫を襲名。上方で活躍したが、病により38歳で逝去。

●台本『けいせい玉手綱 口明』天保8[1837]年2月道頓堀中の芝居初演台本の写しか？

初演時の配役あり。下段右端に三代目中村芝翫、左端に四代目中村歌右衛門(前名二代目中村芝翫)の名が見える。

●役割番付【縮小複製】※参考資料 天保8[1837]年2月中の芝居(道頓堀)『けいせい玉手綱』『熊坂物見松』

配役に三代目中村芝翫、四代目中村歌右衛門(前名二代目中村芝翫)の名が見える。また、中村玉助は三代目中村歌右衛門(初代中村芝翫)の最終名。

四代目中村芝翫【文政13[1830]年生-明治32[1899]年没】

四代目中村歌右衛門の養子。万延元[1860]年四代目芝翫襲名。大坂の生まれだが江戸へ下り、幕末から明治初期にかけて立役として活躍。「大芝翫」と讃えられた。

●歌舞伎座絵本番付『祇園祭礼信仰記 金閣寺』

挿絵・配役に「松永大膳久秀 [四代目]中村芝翫、狩野の息女雪姫 [四代目]中村福助(=五代目中村歌右衛門)」と名前が見える。

●スチール [接写]『川中島東都錦繪』明治15年[1882]6-7月猿若座(新富座)

[左]武田大膳太夫信玄(四代目中村芝翫)／[右]和田喜兵衛正行(四代目中村芝翫)



歌舞伎座絵本番付『祇園祭礼信仰記 金閣寺』【部分】
左:松永大膳久秀[四代目]中村芝翫、右:狩野の息女雪姫[四代目]中村福助(=五代目中村歌右衛門)

五代目中村芝翫(五代目中村歌右衛門)【慶応元[1865]年生-昭和15[1940]年没】

四代目中村芝翫の養子。明治34[1907]年五代目芝翫、明治44[1917]年五代目歌右衛門襲名。明治後期より昭和初期に活躍した名女方で、長きにわたり劇界を率いた。立役としても優れた演技を見せた。

●スチール

『桐一葉』明治43年[1910]10月歌舞伎座上演か？ 女馬士実は淀君(五代目中村芝翫=五代目中村歌右衛門)

『祇園祭礼信仰記 金閣寺』明治44年[1911]6月歌舞伎座 雪姫(五代目中村芝翫=五代目中村歌右衛門)

『沓手鳥孤城落月』大正13年[1924]2月麻布明治座

[左]秀頼(五代目中村福助)、[右]淀の方(五代目中村歌右衛門)

『実録先代萩』大正13年[1924]4月浅草松竹座

[左]千代松(三代目中村児太郎=六代目中村歌右衛門)、[右]乳人浅岡(五代目中村歌右衛門)

『巖島招檜扇』昭和11[1936]年11月歌舞伎座 平相国清盛(五代目中村歌右衛門)

六代目中村芝翫(六代目中村歌右衛門)【大正6[1917]年生-平成13[2007]年没】

五代目歌右衛門の次男。昭和16[1947]年六代目芝翫、昭和26[1957]年六代目歌右衛門襲名。昭和期より活躍し、真女方として名舞台を数多く残した。

●スチール

『祇園祭礼信仰記 金閣寺』昭和25[1950]年1月東京劇場 雪姫(六代目中村芝翫=六代目中村歌右衛門)

『其小唄夢廓』昭和25[1950]年4月東京劇場 小紫(六代目中村芝翫=六代目中村歌右衛門)

『加賀見山旧錦絵』昭和47[1972]年4月歌舞伎座 [左]召使お初(七代目中村芝翫)、[右]中老尾上(六代目中村歌右衛門)

『壇浦兜軍記』昭和59[1984]年12月国立劇場(大劇場)

[左]傾城阿古屋(六代目中村歌右衛門)、[右]秩父庄司重忠(十代目市川海老蔵=十二代目市川團十郎)

七代目中村芝翫【昭和3[1928]年生-平成23[2011]年没】

五代目中村福助の長男。昭和42[1967]年七代目芝翫襲名。父と祖父(五代目歌右衛門)の没後、六代目尾上菊五郎の薫陶を受ける。後に歌右衛門の一座に戻り、時代物、世話物と幅広い芸域を誇り、多くの舞台で活躍し、ことに舞踊は名手として知られた。

●スチール

『新版歌祭文』昭和42[1967]年4月歌舞伎座 ●襲名披露公演

[左]庄屋伴栄三(五代目中村児太郎=九代目中村福助)、[右]お光(七代目中村福助改め七代目中村芝翫)

『本朝廿四孝』昭和42[1967]年4月歌舞伎座 ●襲名披露公演

八重垣姫(七代目中村福助改め七代目中村芝翫)

『女暫』平成2[1990]年4月歌舞伎座 今井妹巴御前(七代目中村芝翫)

『良弁杉由来』平成4[1992]年3月新橋演舞場

[左]水無瀬後室渚の方(七代目中村芝翫)、[右]良弁大僧正(三代目中村橋之助=八代目中村芝翫)

『藤娘』平成20[2008]年10月歌舞伎座 藤の精(七代目中村芝翫)

『沓手鳥孤城落月』平成23[2011]年9月新橋演舞場

[左]より 大蔵の局(六代目上村吉弥)、饗庭の局(三代目中村芝喜松=四代目中村梅花)、豊臣秀頼(三代目中村又五郎)、淀の方(七代目中村芝翫)、正栄尼(六代目中村東蔵)

八代目中村芝翫【昭和40[1965]年生-】

七代目中村芝翫の次男。平成28[2016]年八代目芝翫襲名。

●スチール

『義経千本桜』昭和61[1986]年4月国立劇場(小劇場)

[左]新中納言知盛(三代目中村橋之助=八代目中村芝翫)、[右]典侍の局(五代目中村児太郎=九代目中村福助)

『盟三五大切』平成10年[1998]年9月シアターコクーン

[左]薩摩源五兵衛実は不破数右衛門(三代目中村橋之助=八代目中村芝翫)、[右]芸者姐妃の小万実は神谷召使お六(九代目中村福助)

『一谷嫩軍記』平成15[2003]年2月新橋演舞場 熊谷次郎直実(三代目中村橋之助=八代目中村芝翫)

『菊薫縁羽衣』平成16[2004]年9月歌舞伎座 ●初代中村宜生初舞台

[左より]天人嘩(初代中村宗生=三代目中村福之助)、天女玉瑛(六代目中村児太郎)、天人焯(初代中村国生=四代目中村橋之助)、宿星の童子(初代中村宜生=四代目中村歌之助)、玄武(三代目中村橋之助=八代目中村芝翫)、天帝(七代目中村芝翫)

『雪暮夜入谷畦道』平成24[2012]年1月平成中村座(隅田公園)

[左]大口屋抱え三千歳(二代目中村七之助)、[右]片岡直次郎(三代目中村橋之助=八代目中村芝翫)

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2016（平成28）年10月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます



組上燈籠『石橋』試作品と成立のお祝いに頂いたお花

■ 休館のお知らせ ■

創立記念日のため

平成28年11月22日（火）は

休館いたします

■ 編集後記 ■

▼巻頭でもお知らせしていますように、10月26日に、クラウドファンディングのプロジェクトが無事成立しました！ご支援・ご協力、本当にありがとうございます！皆様からのお祝いのお言葉もたくさん頂戴し、スタッフ一同感謝の気持ちでいっぱいとともに、改めて気を引き締めて、日々の業務に取り組みしております。今後とも、松竹大谷図書館をよろしくお願いいたします。



- 利用案内 ●
- 開館時間 ●
- 平日午前10時～午後5時
- 休館日 ●
- 土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期特別整理期間
- ※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。
- 入館料 ●
- 無料
- 交通案内 ●
- 東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
- 東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

編集・発行 公益財団法人 松竹大谷図書館 〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア3階

TEL 03-5550-1694 <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>